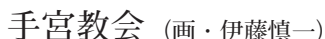


発行所 **日本基督教団**  
 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546  
 FAX03(3207)3918  
 E-mail:shimpoh-c@uccj.org

発行人 竹前 昇  
 編集主筆 竹澤 知代志  
 印刷所 株式会社きかんし



平和の王が来られる



『聖と俗と』  
『贖いの日』  
『慈悲のこころ』  
『他続々……』  
何れもフエイ

・ケラーマン、創元推理文庫。こうまで並べられたら読まないではいられない。

▼前の三作は、ロサンゼルスを舞台に、ユダヤ人の血を持ちながら、親に捨てられバプテストの養父母に育

何れもフエ  
・ケラーマン、創元推理文庫。こうまで並べられたら読まないではいけない。  
▼前の三作は、ロサンゼルスを舞台に、ユダヤ人の血を持ちながら、親に捨てられパプテストの養父母に育てられたマツチヨな刑事が主人公。彼はユダヤ教の神学校で起きたレイプ事件の捜査を通して、ユダヤ人の女性に心惹かれ、また現代に息づく戒律・律法の世界

日のシェイクスピアが殺人事件に拘わるといふ破天荒なものだが、当時のイギリスやスペインのユダヤ人迫害が詳細に語られる。▼食祈り・性、実生活の様々な

るのか。安息日にタイマーで電源を入れることは是非という些末にも見えることから、信仰・律法の本質に関わることで、研究書ではないだけに雑多に現れる。規範なき世界に住む者には、それが実に新鮮だ。



十年目のクリスマス

中国・武漢の教会

一八日、武昌堂での朝の礼拝。三階の礼拝堂に入らず、二階の大教室二〇〇余名の群に割り込み、有線テレビによる説教「イエスが世に下って何をしたのか」に耳傾ける。洗礼式冒頭、受洗者確認の点呼に合わせ指折り数えると、三八名で若い人が多い。(ここでは通例、授洗を金、土、日の三回に分け、受洗日を選択させている。妻の出席した礼拝堂ではこの日二〇名ほどが受洗。報告で「中国ではここ数年クリスマスが盛んになる一方。平安夜(イヴ)は人でいっぱい、乗れる車もないほど。平安夜礼拝は午後二時半から」。

二三日の晩、武漢音楽学院編鐘音楽庁で「新春的詠嘆二〇〇五湖北省外国専門家聖誕專場音楽会」。湖北省人民政府の外事関係部門が省内で働く外国人教師や企業マンを接待したもの。(編鐘とは湖北での出土で有名な古代の楽器。民族管弦楽の合奏二曲で始まり、揃いの民族衣装「カチューシャ合唱団」お年寄り男性一八名がずらりと横二列で二曲、続いて後ろ一列に退いた前に中年女性二七名が横二列

で加わり、混声「カチューシャ」。さらに一人舞踊あり、男声中音、女声高音の独唱あり、琵琶の独奏に系弦重奏あり、少数民族のダンスで女子一六名の群舞あり、男声女声高音低音など各種の独唱や二重唱あり等々、男子一六名による勇壮な群舞でフィナーレ。宗教色は皆無。盛りたくさんでなかなか楽しく、少数民族の舞踊にコーラス・カチューシャが最高。

二四日、朝の電話で「先生、クリスマスおめでとうございます」。合肥聯合大学の日本語専攻クラスで聴講



数十人、時に百人を越える受洗者



若い男女の姿が目立つ礼拝



聖餐式(配餐)のひとつま



礼拝堂はI～3階まで満員

礼拝と奉仕と伝道と

ドイツ福音主義教会とディアコニー

ヨーロッパの国家の特徴の一つは「福祉」を推進することである。国民の間でも「強い国家」(日本風に言えば「大きな政府」)を支持する風潮が強い。しかし「福祉」を国家任せにしよつという訳ではない。日本では「国家」がやらなければならない「民間」がやることになり、そのために新しいサリース(企業)を、という風に話が進む。しかしドイツでは既存のものが新しい役割を担えないか、とまず考える。そのときに一役買うことになるのが教会である。今回は編集部から「ドイツにおけるクリスマス」の取材をするよう求められた。これにヒントを得て、街のいわば裏側において厳寒でも変わらず奉仕(ディアコニー)する教会という

組に移行。席を離れる人もある一方、右手の階段上からひっきりなしに後方へと入ってくるほとんどが若い男女。閉会間際に横に座った二人も、讃美歌や聖書も知らず開け方を教えてあげていて、終わりの主の祈りなど前からしか聞こえない。帰り際、入り口で遮り閉めていた。

その留守に、歴史研究所の若い劉家峰さん夫妻と事務の劉莉さんとが来訪「東(中)韓基督教の比較研究」を共同での関係か

の模様。妻が在宅している。二五日、朝九時半からクリスマス礼拝。二〇分前に着き、階段下で通せんぼ。二階にも上がれず、一階の小部屋やロビーも満杯。コンクリー院子(中庭)もすでに大勢、それでも後ろに運ばれてきた横長木製ベンチに座りこむと、四人掛けに五人でびっちょり。寒いとは言えさほどの寒さでもなく、じつと我慢の程度。だんだん増え三〇〇、四〇〇人ほど。(三年前の夏、最初の礼拝も)。

説教が始まったころふと見ると、制服制帽と制服無帽の警察官が三人現れ、後ろに回ったり立ち止まった。私服の男女も何人となりカメラを手にし佇んで打ち合わせたり、外側階段の上からあちこちレンズを向けてたり。何事が起きるわけでもなく、手持ちぶたさの風情。二階や三階でもこうなのかどうかは不明。帰りに、道路にも数人と車二台ほど。去年もこんな風だったような感じでもある。

(加藤実報 教団派遣宣教師・华中師範大学)



「世界にパンを」部局のシュナイダー牧師

ドイツの福音主義教会は「国民教会」を標榜するドイツのドイツ福音主義教会及びカトリック教会は、それぞれ国民の三分の二が教会員という巨大な教会で、元々社会から期待される役割は大きい。市民社会の形成に一役買うことを求められているのである。ドイツ

福音主義教会は「ディアコニー」(奉仕)の側面を充実にするため、ベルリンとシュトゥットガルトにそれぞれ本部を設置している。今回はシュトゥットガルトにある「世界にパンを」部局のシュナイダー牧師に取材した。

「ディアコニーは三六五日なされるものです。クリ

スマスや冬だから特別に、ということはあるにせよ、それは現実にはありません。しかしクリスマスそのものがドイツの文化に深く根ざしている。クリスマス休暇は皆が家庭に帰る日なのです。従って、それに合わせたディアコニーとして、ホームレスの彼らに帰る場所を用意したいと思っています。教会は帰る場所」と一口には言っても、彼らが着の身に着るまで入ることができず教会はそれほど多くありません。シュトゥットガルトには一つあります。レオナルド教会というものがそれ、この教会はディアコニーに深く関わっています。

『教会税』のお金とはまったく別に地域からの賛助を受けて成り立っているディアコニーで、二四日にここに来れば、どんな人も礼拝の後に温かい食事が食べられます。

「普段この教会が関わる、貧しい人のためのディアコニーによって教会の主体性は



レオナルド教会でのディアコニーの様子

二は、奉仕者たちによって閉店間際の商店に行き売れ残ったものを安く(時には無料で)そろえて彼らに提供するということです。他方で、この教会が開設し、主に貧しい人のためにコーヒを供する喫茶店があります。それがシュトゥットガルトでも一、二を争うおいしいコーヒが出るというところで有名です。貧しい人だからいつも二等のものという発想は持っていない、元は教会だが今はディアコニーとして独立してしまつた団体もあることを嘆いていた。

氏が他方で警戒するものが、信仰と行為の混同である。ここは慎重に説明しないといけません。信仰なしにわたしたちの行為は決してできないと信じています。その点でこの『世界にパンを』の部局のメンバーは名目上全員教会員ですが、みなが教会を常に意識しているとは言えないことは遺憾に思っています。新しい人を雇うときには教会

確保されるのです。教会から奉仕者が出ていくタイフのディアコニーももちろんある。経験的には、高齢の単身女性は、プライドがあつて教会に助けを求めに來ないケースが多いという。そのための訪問が欠かせない。「しかし、そのための奉仕者も、教会から出た発し、教会に戻るという体裁を取る必要があるでしょう。実際、その体裁を取らない、元は教会だが今はディアコニーとして独立してしまつた団体もあることを嘆いていた。

取材を終えて感じたのは、シュナイダー牧師自身が抱えるジレンマである。教会が教会共同体の形成を行うのは当然として、それは市民社会の形成どう関わるのか。礼拝とディアコニー、そして伝道との関係はどうなるのか。答えは一筋縄ではいかないように思つた。

(上田彰報)



## 共に育つ

### 子どもはおとなのパートナー

奥羽教区では長年「キリスト教幼児施設教職員修養会」という集いを開催してきました。保育園や幼稚園、その他の教会に關係する諸施設に勤める方々を主な対象として、また広く全教会にも開かれた学びと交わり

の場として既に三三回を数えています。今年は一五〇六日に、弁護士で「NPO法人カリヨン子どもセンター」の理事長坪井節子さんを迎えて、保育現場の様々な課題



講師の坪井節子氏(弓町本郷教会員)



第32回奥羽教区キリスト教幼児施設教職員修養会、全体写真

し、その日々の取り組みを通して素晴らしいお話を伺うことができました。坪井さんは、子どもの人権救済活動の現場に長く関わって来られました。学校内でのいじめ・体罰・不登校、家庭内虐待、児童擁護施設内での人権問題、子ども買春問題等、子どもたちがどれ程苦しんでいるのかを率直に話されました。いじめや虐待のなかで自殺を図り、自暴自棄に陥った青少年との出会い。

言葉なく、涙とともにただ聴き続けることから、長い回復への道のりを共に歩む日々。

## さまざまな讃美にのせて

### 四国教区高知分区 教会音楽祭

一月九日(月)午後二時四時、四国教区高知分区では、教育部主催による教会音楽祭が、高知教会を会場に行われました。前日の午後と当日の午前中は、玉理照子氏(教団讃美歌委員、広島流川教会奏楽者)を講師に招き、オルガン二講習会が開かれました。

イエルネの「ウェストミンスターの鐘」は、新年の幕開けにも相応しい迫力でした。全身全霊の讃美の姿勢に、圧倒させられました。続いて、分区唯一のキリスト教主義学校、清和学園ハンドベル部二三名による演奏です。「This joyful day」は、柔らかな曲でした。本年が、そうあって欲しいと思わせる演奏でした。

続いて、土佐嶺北教会の牧師と他二名による讃美です。若い女性の伴奏で、時が静かに、清らかに流れて行くようでした。最後には韓国語による讃美も献げられました。

続いて、清和学園卒業生による、白百合コーラス九名による讃美です。真っ白に統一されたフラウで、それぞれが流れるように、踊るように、まるで聖霊に酔う、白百合のようでした。最後は、貝塚バンドと共に活躍する島田やよい氏(須崎教会信徒)が、奏楽者と共に「Psalms」を讃美しました。御自身も楽器を奏で、天井を突くような高音が魅力的でした。

この日、主を讃美するため総勢八〇名が集まり、あつと云う間の二時間でした。最後に委員長は、高知分区に豊かな賜物が与えられていることを感謝し、神に栄光を帰しました。(大坪信章報)

## 事務局報

### 補教師登録

吉田隆一(二〇〇五・十一・二六受允)  
野田 沢、平本善一(二〇〇五・十一・二七受允)  
国岡スーメリーなつみ(二〇〇五・十一・二九受允)  
正教師登録  
浅香拓也、鈴木喜美子、野口春夫、正井陽子(二〇〇五・十一・十五受按)  
星野 健、松浦裕介、宮部 望(二〇〇五・十一・二三受按)  
町田さとみ、都築英夫、山本英美子(二〇〇五・十一・二六受按)  
川俣 茂、山室眞平、有馬尊義、千原 創(二〇〇五・十一・二七受按)  
指方信平、永倉正嗣(二〇〇五・十一・二九受按)  
教師異動

玉川平安辞(兼主)山口隆康  
就(兼担)山口隆康  
辞(担)藤田義哉  
就(主)藤田義哉  
就(代)今野善郎  
鹿兒島加治屋町  
就(代)山口寿明  
日本橋  
辞(主)村本新日  
就(代)甲賀道生  
明治学院大学  
辞(教)加山久夫  
上倉田 辞(兼主)加山久夫  
就(主)加山久夫  
花輪 辞(代)佐々木久慶  
就(代)大坂正治  
元住吉 辞(代)郷石近尚志  
就(代)石井道夫  
早稲田 辞(担)郷石近尚志  
宇和島中町辞(担)沼田和也  
就(主)沼田和也  
加茂兄弟団辞(担)山本聖  
正雀 辞(代)鈴口 宏  
就(主)山本 聖  
東北学院榴ヶ岡高校 辞(教)塚本 信  
金城学院中・高校 就(教)塚本 信  
教師隠退  
大坂正治  
隠退教師復帰  
教会建設  
東所沢第一種より 第一種教会へ

### 図書館員(嘱託)募集

司書資格を有するものないし取得見込み者、本校の図書館業務を行うもので、神学的知識を有するものが望ましい。〇6年4月より週3日ないし4日勤務。募集人員は1名。募集へ切は2月末。◎詳細は総務高橋・鈴木◎日本聖書神学校Tel 03-3951-1101

## 平和憲法と「2・11」

元来二月一日「旧紀元節」は、神武天皇が初代天皇として即位したという架空の神話に基づく神社神道の一祭日であり、「天皇制」の原点の日である。それ故、神道指令と日本国憲法により抹消されたにもかかわらず、一九六七年に「建国記念の日」という名の祝日として復活して以後、

当に憂慮する事態であった。しかし、昨年九月三〇日に大阪高等裁判所は、首相の靖国参拝は、職務として行われ、国が靖国神社を特別に支援しているとの印象を与えるとし、首相の参拝が憲法の

禁じる宗教活動にあたると認め、高裁としては初めての違憲判決を下したことは、右傾化に突き進む中での画期的なことと思われたが、一方で憲法改正のための国民投票法案の準備など、改憲への動きが着々と進んでいることを見逃してはならない。

このような状況で、私たちは、主の支配がこの世界に確かにあることを信じてはいるが、なお「平和を作ることを託されていることを忘れてはならず、その証しの一つとして、平和憲法を遵守する決意を新たにするものである。」(教団総会議長 山北宣久)



清和学園ハンドベル部の演奏



土佐嶺北教会グロリアトリオの演奏



青年部の受難劇

初めの経験でしたが、講師の静かにそして深い想いを込めて語りかけるひと言に胸打たれつつ、幼い子どもたちとその家庭とに関わる一人一人の現場で、日々どのようなパートナーシップを築くのか、大変貴重な示唆をたくさん頂くことができました。(太田春夫報)

## 消息

久保田豊武氏(隠退教師)



二月三日、逝去。九九歳。福井県に生まれる。一九三八年日本神学校卒業。四七年、加須教会に赴任し、四八年から五九年まで千葉教会を牧会した。その後、教団総務局に七二年まで勤務し、隠退した。遺族は長男の祝さん。

玉川平安辞(兼主)山口隆康  
就(兼担)山口隆康  
辞(担)藤田義哉  
就(主)藤田義哉  
就(代)今野善郎  
鹿兒島加治屋町  
就(代)山口寿明  
日本橋  
辞(主)村本新日  
就(代)甲賀道生  
明治学院大学  
辞(教)加山久夫  
上倉田 辞(兼主)加山久夫  
就(主)加山久夫  
花輪 辞(代)佐々木久慶  
就(代)大坂正治  
元住吉 辞(代)郷石近尚志  
就(代)石井道夫  
早稲田 辞(担)郷石近尚志  
宇和島中町辞(担)沼田和也  
就(主)沼田和也  
加茂兄弟団辞(担)山本聖  
正雀 辞(代)鈴口 宏  
就(主)山本 聖  
東北学院榴ヶ岡高校 辞(教)塚本 信  
金城学院中・高校 就(教)塚本 信  
教師隠退  
大坂正治  
隠退教師復帰  
教会建設  
東所沢第一種より 第一種教会へ



# 牧師のパートナー

「悲しいことがあっても：イエスさまがいて：」(こどもさんびか改訂版一三二番 同じメロディーの繰り返しの中にキリストの近付きを実感し、深い歴史の中で歌い継がれてきたように賛美できる事を、そして、キリストの御降誕、十字架と復活により確かなものとなりました「永遠の命」(ヨハネ三・一六)を感謝します。

四五九三号の「牧師のパートナー」を繰り返し拝読しました。教会の御用、幼稚園の業、治療と看護、療養の大変な状況を克服されましたことを通して、神は「牧師のパートナー」を示して下さったと思います。

私は、神学校保育科に在学中、夫に出会い卒業数年後に結婚、三年余りの間に、くまの伝道所、福光教会、田名部教会、二〇〇二年より稚内教会に伴いました。各教会でお互いに理解を深め合いつつ教会員として受け入れていただき、父親の転任による環境の変化は、子どもの心には大きなショックであったようです。しか

## 恵みを見つけつつ 恵みに生かされて

柳 多恵子  
(稚内教会員)

えてくれたものは、教会のキリストの愛に根ざした交わりと祈り、高額の仕事と学費を抱えた家庭が複数ある中で行なわれた会堂建築、家族の助け合い等様々な事がありますが、定期開催の牧師夫人会と家族会でした。教区地区の組織の中で予算と共に計画され、各自が納める会費、各教会の支援と祈りのもと送り出していた、出席いただき、当番の采配と先輩夫人の心遣いの



クリスマス合同礼拝を終えて

し、教会の方々の温かいお心遣いのもと回復できましたことはほんとうに感謝でした。子どもも牧師のパートナーである事を改めて思いめぐらせる次第です。

二九年間教会幼稚園で共に過ごした園児たちから、神の前に在って人は、大人も子どもも心の深い所では、本質的には同じである事を心に刻みました。幼児であってもキリストの愛を実現している姿に、心があつくることが多くありました。改めて振り返りますと、それは、「教会とは何か」を考えた大切な要素を提供された事を思います。

牧師のパートナーである事を支

え、心からの交わりと休息、霊的に高められ、養われる貴重な集いでした。会の存続と出席者の尊重も含め守秘義務を駆使する事を約束し、次回へと望みを託しました。

私共牧師と家族が共に過して参りました年月は、多くの恵みと深い悲しみ、そして喜びに溢れておりました。神が共にいてくださいました事を心にかみしめております。これからの日々、一つ一つ神の恵みを教えつつ、恵みの内に過させていただくことができますよう祈ります。

## 2005年度西中国教区 部落解放現地研修ツアー

去る、二月五日(月)六日(火)西中国教区部落解放現地研修ツアーが実施された。西中国教区からの参加者は二名。

このプログラムは一九九九年から実施され、これまで、奈良・水戸博物館、大阪人権博物館、教団部落解放センター、福山人権資料館、ホロコースト記念館、岡山(渋染一揆、呂久光明園、筑豊、長崎等を訪ね、様々な出会いを通し研修を積み重ねてきた。この度は、しばらくぶりの教団部落解放センターと震災一二年目を迎えるようとしている兵庫教区被災者生活支援・長田活動センターを訪ねた。

中国地方は折からの大雪に見舞われ、予定時間より遅れること約一時間、自動車二台に分乗し午後四時頃に教団部落解放センターに到着。しばしのセンター見学後、職員五十嵐照美さんより、ご自身の被差別経験をお話して、当地での部落差別の実態と取り組みについてお話を伺った。その後、近隣のフィールドワークを行いながら会場を移してセンターを支える方々との交流会。またその中で臨時主事代行の東谷誠さんから、センターの現在の活動の詳細についてお話を伺った。その後、宿泊場所の神戸学生青年センターへ移動。

翌朝、兵庫教区被災者生活支援・長田活動センターを訪ねた。主事の柴田信也さんの案内により周辺のフィールドワークを行った。住民の生活とかけ離れた「復興」の現実に触れ、その後、現在のセンターの取り組みについてお話を伺った。

当研修ツアーの目的の一つは、現地の活動に触れ連帯の実質的契機とすることである。その意味では特に、長田活動センターの多岐且つ細やかな活動が、一教区のセンターによって担われていることには驚きを覚え、また課題を与えられた。またもう一つの目的である「出会い」においては、両センター共、活動に携る方々と出会えたことは意義深いことであった。ツアーを通して得た掛け替えのない経験が、今後の連帯をさらに推し進める一助となることを願っている。

(小畑太作報・周陽教会)

## ひととき

一宮秀禎さん

## 心に聴く就職支援



1944 年、神戸市生まれ。ハローワーク相模原就職支援アドバイザー。05 年、補教師。

米国に八年間駐在し、鉄鋼商社マンとして活躍した一宮さんが、Cコース受験を志したきっかけは、五〇代に入院したことだったという。といっても、大学で倫理学を専攻し、一九歳で受洗した時に、将来の教職を夢見ていたというから、長い間心に描いていた転身だった。

東神大夜間講座、日本聖書神学校夜間聴講生として勉強し、昨年、六一歳で補教師となった時に、教職の道に進まなかったのは、退職後、取得した産業力ウンセラの資格から得たハローワーク就職支援アドバイザーの仕事に、実践的の愛の宣教の場を見出したからだ。

二年近くのハローワークでの体験で気づいたのは、今の若者に

にコミュニケーション不足の者が目立つことだ。「何をしたらいいか、何をしたいのか。表現出来ない」者がいる。

いとも簡単に職を見つける人と、何十回受けても決まらない人。その分かれ目は、「出会いの重要性」なのだという。「単に人間との出会いだけでなく、仕事との出会い。自己理解と仕事理解がマッチした人は職もすぐ見つかる」。

就職支援アドバイザーとしての一宮さんの役割は「自己理解、自分に気づくのを助けること」。「心に聴くことによって、魂の癒しと希望を与える。そこに広い意味の牧会的なカウンセリング

グを見出している。」

職に就こうともしないニートの青年に対し、「それほど心配はしていない」という。「彼らなりに模索していることがわかるし、勉強もしているから」である。ただし、ハローワークに親が付き添って訪れる青年がいる。「そういう人に、いきなり職業につけというのは無理だから、まず同年齢の仲間と話し合うことから始める」というのが一宮さんのやり方だ。

将来の牧会にこの経験は活きると、一宮さんは教会から離れて行った人々、知友などに月二回聖書の学びの文書伝道を続けている。

## 2・11メッセージ

建国記念日としての歴史的根拠に基づかない二月一日が「建国記念の日」として制定実施された一九六七年以来日本基督教団は二月一日を「建国記念の日」として認めず、「信教の自由を守る日」として位置づけ、各地で二・一一集会を開催してきました。教団のみならず、キリスト教会や市民団体なども全国各地で抗議集会などを開いてきました。

もとも二月一日は、神話上の人物とされる神武天皇が即位した日とされ、一八七四年に「紀元節」と決められ、戦前の日本、戦後の日本、軍国主義を象徴する「祭日」でした。戦後、「紀元節」は平和主義国家の祝日にふさわしくいこと一九四

五度目の靖国神社参拝を強行しました。大阪高裁などで首相の靖国参拝は憲法の政教分離の原則に反するとの判決が出されているにもかかわらず、小泉首相は、尊い命を犠牲に日本のために戦った戦没者たちに敬意と感謝を捧げるのが政治家として当然と言

つています。首相は国のために命を犠牲にする国民がどうしても必要であると考えているのでしょう。

衆参両院の憲法調査会は昨年四月最終報告書を公表しました。同報告書は憲法改正の必要性を強く訴えています。これに呼応して自由民主党は、昨年十月、「新憲法案」を公表しました。憲法改正の焦点は第九条にあり、今の自衛隊を憲法上の自衛軍として定めることにあります。

「建国記念の日」が制定実施されて三九年目の今年、平和の福音を宣教する教会の使命の重さを実感するものです。

日本基督教団社会委員会  
靖国・天皇制問題小委員会